

～ 高校生のための博物館の日～



自然科学の

センス

オブ

ワンダー

sense of wonder



参加費
無料!

※博物館入館料は
必要となります。

自然科学の問いを探そう!

2015年8月11日(火) 13時～17時
(12時半より受付)

【場所】 大阪市立自然史博物館

(大阪市東住吉区长居公園1-23)

地下鉄御堂筋線「長居」駅3号出口、

JR 阪和線「長居」東出口、近鉄南大阪線「矢田」駅

高校生を対象として、大学院生を中心とした若手研究者10人が、ポスター発表と博物館展示説明を実施し、日常や身の回りの自然にひそむ「謎」や「疑問」の発見を手助けします! 大学で研究している大学院生の話を聞いたり、質問したりできるめったにない機会です。大学で自然科学を学びたい、または興味・関心のある高校生の皆さん、ぜひ、ご参加下さい!

【申 込】

大阪市立自然史博物館公式サイト 下記 URL の「イベント」欄よりお申し込みください。

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/index.html>

メール/往復はがき 「高校生のための博物館の日参加希望」と明記の上、氏名、学校名、学年、連絡先住所、電話番号、およびハガキの場合は返信の宛名を記入して下記の申込先にお申し込みください。メールアドレス: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

住所: 〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23 大阪市立自然史博物館普及係

TEL: 06-6697-6221

【申込締切】 7月25日(土)

【定 員】 100名

【対 象】 高校生(引率教員の見学可能)

【主 催】 (公大)大阪市立大学・(公財)大阪市立博物館協会・大阪府教育センター



カメムシに
季節がわかる
のはなぜ?

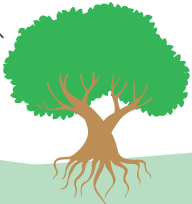


アフリカの湖の
魚はなぜ
多様なの?



高校までの理科では、質問に対する「答え」を考える学習が主流になってきました。しかし、実は自然科学研究でもっとも重要なのは謎や疑問といった「問い」をみつけるプロセスです。この「問い」が見つかった瞬間、何でもなかった風景が面白い、興味深いものになります。

本イベントは、これから進路を選択する高校生を対象に、自然科学研究の一番面白い部分に触れてもらうことを目的としています。研究への情熱あふれる若手研究者の話を直接聞き、気軽に話をするすることで、自然科学の面白さを発見し、研究や理科系進学についてのイメージを広げてみませんか？



SCHEDULE

当日スケジュール

13:00	13:20	13:30	14:30	14:40	15:25	15:35	16:20	16:30	17:00
講堂	移動 休憩	ホール	移動 休憩	2F	移動 休憩	1F	移動 休憩	講堂	
ガイダンス		ポスター発表		展示説明 前半		展示説明 後半		まとめ	

ポスター発表プログラム

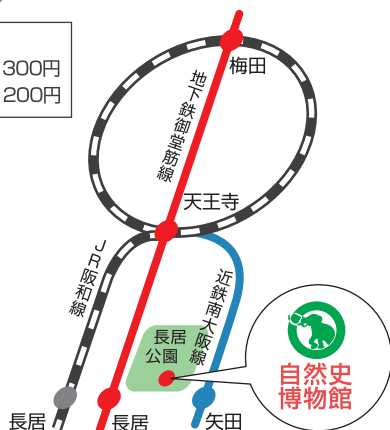
1	タンガニカ湖に見られる魚の適応放散	太田和孝 (大阪市立大学大学院理学研究科特任助教)
2	鳴声レパートリーが豊かな雄は、質が良い雄なのか？	西田有佑 (大阪市立大学大学院理学研究科 D1)
3	カメムシが季節を知るしくみ	松本圭司 (大阪市立大学大学院理学研究科 D3)
4	光で卵がかえる田んぼの生きた化石たち	小岩 聡 (大阪市立大学大学院理学研究科 M2)
5	森林の景色を変える外来植物ナンキンハゼ	森家侑生 (大阪市立大学大学院理学研究科 D2)
6	大阪平野の地層と地下水	新谷 毅 (大阪市立大学大学院理学研究科 D1)
7	琉球列島の第四紀哺乳類化石の研究 ～宮古島・石垣島を中心として～	河村 愛 (大阪市立大学大学院理学研究科 D3)
8	和歌山平野の第四紀層中の花粉化石による第四紀後期の 古植生・気候変遷の推定	山田英明 (大阪市立大学大学院理学研究科 M2)
9	生駒山をつくる石のなりたち	小泉奈緒子 (大阪市立大学大学院理学研究科 D3)
10	コーヒーの起源と機能性成分	本田沙理 (徳島大学大学院総合教育部 M2) 野島祥子 (大阪市立大学大学院生活科学研究科 M1)

注) D1～3: 後期博士課程1～3年 M1, 2: 前期博士課程1, 2年

ACCESS アクセス

大阪市立自然史博物館
大阪市東住吉区長居公園1-23
TEL:06-6697-6221

入場料
大人 300円
高校生・大学生 200円



- 地下鉄御堂筋線「長居」駅 南改札口3号出口から東へ約800m
- JR 阪和線「長居」駅 東出口から東へ約1km
- 近鉄南大阪線「矢田」駅 西へ約1.8km

